

救急部臨床研修プログラム

1. 目標

包括目標(Goal)

救急患者に対し、身体診察、各種検査を通して鑑別診断を行い、適切な検査・治療を上級医の指導の下に立案・実施することができる。

個別目標 (Objectives)

- ① 救急患者に対し基本的な身体診察、病歴聴取を行いカルテに記載し、病歴要約を作成することができる。
- ② 救急患者の情報(バイタルサインや検査所見)を元に症例提示ができる。
- ③ 救急患者の情報(バイタルサインや検査所見)を元に鑑別診断、治療方針を提示することができる。
- ④ 心肺停止患者に対し一次・二次救命処置を行うことができる。
- ⑤ 重症患者に対し中心静脈カテーテル、動脈ラインを挿入することができる。(原則 2 ヶ月以上研修時)
- ⑥ 呼吸不全の患者に対し気管挿管、人工呼吸器管理を行うことができる。(原則 2 ヶ月以上研修時)
- ⑦ 外傷患者に対し外傷初期診療ガイドラインを通して診断・治療することができる

2. 方略

- ① 毎朝夕のカンファレンスにおいて担当患者のプレゼンテーションを行う。
- ② 救急外来担当の研修医は、上級医とともに救急患者の初期治療にあたる。
- ③ 救急病棟担当の研修医は、上級医とともに入院患者の処方、検査オーダーを行う。
- ④ CT 読影やエコー検査(心臓・腹部/FAST・POCUS)
- ⑤ BLS/ICLS への参加(シミュレーション、on the job training)
- ⑥ 中心静脈カテーテル、動脈ライン挿入(on the job training)
- ⑦ 気管挿管、人工呼吸器管理(on the job training)
- ⑧ 鑑別診断についての講義

救急部臨床研修プログラム

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
集合時間	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00
場所	ICU 医局	ICU 医局	ICU 医局	ICU 医局	ICU 医局
午前	カンファレンス 回診	カンファレンス 回診	カンファレンス 回診	カンファレンス 回診	カンファレンス 回診
	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務
	処置・手技	処置・手技	処置・手技	処置・手技	処置・手技
午後	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務
	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り

病棟：主に救急病棟

医局：救急集中治療棟 4 階

3. 評価

1. EPOC 2 で評価（形成的評価）

4. 指導医（指導医養成講習会を受講した医師）

新山修平、二木貴弘、寺田晋作